

FCEIの紹介

Family-Centered Early Intervention for Children who are Deaf or Hard of Hearing

(聴覚障害児のための家族を中心とする早期介入)

第2回難聴児の早期発見・早期療育推進のための基本
方針作成に関する検討会
2021年5月28日(金)

東京医療センター耳鼻咽喉科科長
南 修司郎



FCEI作成の過程

FCEI Principles for download

- [Dutch](#)
- [English](#)
- [German](#)
- [Japanese](#)
- [Lithuanian](#)
- [Persian](#)
- [Georgian](#)
- [Russian](#)



ASL (American Sign Language):



Benedict, Beth	United States	Gallaudet University
Binder, Doris	Austria	Institute for Neurology of Senses and Language
Carr, Gwen	United Kingdom	Newborn Hearing Screening Programme
Cutler, Jodi	Italy	Affrontiamo la Sordità' Insieme: Dai Genitori ai Genitori
DesGeorges, Janet	United States	Hands & Voices
Fellinger, Johannes	Austria	Institute for Neurology of Senses and Language, University of Vienna
Hintermair, Manfred	Germany	University of Education, Heidelberg
Holzinger, Daniel	Austria	Institute for Neurology of Senses and Language, Konventhospital Linz; Karl Franzens Universität Graz
Koroleva, Inna	Russia	Saint Petersburg State University
Lane, Susan	Canada	BC Early Hearing Program
McDonnell, Teresa	Ireland	Sharing the Journey
Moeller, Mary Pat	United States	Boys Town National Research Hospital
Müllegger-Trečiokaitė Daiva	Austria	Association of Parents and Friends of the Hearing-Impaired (Gemeinschaft Eltern und Freunde Hörgeschädigter).
Niparko, John	United States	University of Southern California
Pichler, Alexandra	Austria	Institute of Neurology of Senses and Language
Pittman, Paula	United States	Utah State University; Ski*Hi Institute
Porter, Ann	Australia	Aussie Deaf Kids
Seaver, Leeanne	United States	Hands & Voices
Storbeck, Claudine	South Africa	University of the Witwatersrand
Stredler-Brown, Arlene	United States	University of Colorado
Walker, Pauline	United Kingdom	National Deaf Children's Society
Windisch, Sabine	Austria	Institute of Neurology of Senses and Language
Yoshinaga-Itano, Christie	United States	University of Colorado
Young, Alys	United Kingdom	University of Manchester

- 2012年、オーストリアのバードイシュル
- 10カ国から難聴児の保護者、ろう者の専門家、早期介入プログラムの指導者、早期介入専門家、研究者
- まず、全員意義なしと認めた10項目の基本原則を確認
- ついで、原則の明文化、関連プログラムの内容、介入者の責務、介入方法の有効性を取りまとめた

原則	日本語	英語	
1	早期に、タイミングよく、公平に、支援につなげる	Early, Timely, & Equitable Access to Services	早期にかつ誰にも開かれたサービス
2	家族と支援チームのバランスのとれた連携	Family/Provider Partnerships	FCEIの実戦内容（何を）と実戦方法（どう）を各家庭と行って行くかに焦点
3	十分な情報提供とそれに基づく家族の選択、意思決定	Informed Choice and Decision Making	
4	家族への社会的および精神的サポート	Family Social & Emotional Support	
5	家庭内での親と乳幼児の対話	Family Infant Interaction	
6	補聴機器や支援機器手法等を用いる	Use of Assistive Technologies and Supporting Means of Communication	
7	専門性の高い療育者	Qualified Providers	
8	多職種連携チーム支援	Collaborative Teamwork	常に発達評価に基づいて実践
9	進捗状況のモニタリング	Progress Monitoring	
10	プログラムのモニタリング	Program Monitoring	

原則3：十分な情報提供とそれに基づく家族の選択、意思決定（担当介入者に求められるもの）

1. 最終的な意思決定権は家族にある事を認識し、**家族が決定権を行使**できるようサポートをする。
2. オープンで柔軟な情報提供のため、多様なコミュニケーション方法を用いる。
3. 情報に基づいた意思決定をできるように、分かりやすく、有意義で、関連性があり、**偏りのないあらゆる情報源**からの情報と経験を共有する。
4. **インフォームドチョイス**とは中立的または機能的に記述された情報とは同義ではないことを念頭に置く。むしろ、評価を伴う情報の方が特定の選択肢に関する各種リスク、便益、不確定要素に目を向けるという意味で重要となる。
5. それぞれの療育的アプローチについて、期待できる成果、潜在する利点や課題を家族に伝える。
6. 家族が意思決定を行う際には積極的に家族をサポートする。
7. 家族が自身の能力や実力に気づき、**自信を持って**活用できるよう支援する。
8. 家族が個々の強み、資源、ニーズ、経験を意思決定の際に反映できるよう支援する。
9. 子供の将来のビジョンや計画を描く手伝いをし、必要に応じて**ビジョンや計画は変更可能**だと理解してもらう。
10. 家族の意思決定に必要な情報を提供する。
11. インフォームドチョイスとは一度きりの決断ではなく、**継続的なプロセス**だと認識する。
12. 法律によって守られている権利について十分に伝える。

原則4：家族への社会的および精神的サポート（担当介入者に求められるもの）

1. 公的な支援の枠組みと、民間の、あるいはプライベートな支援の枠組みとを共に活用する。
2. 自然発生的な人と人の繋がりが家族の健康と幸福を支える事を理解する。
3. 家族が自分たちのニーズや心配事などについて支援の枠組みから得られるものがあるかどうか見極められるよう支援する。
4. 各家庭特有のニーズに合うサポートを選択的に受けられるよう、可能な選択肢は多くしておく。
5. ネットワーク構築のためには相互援助が前提であることを理解し、そのモデルとなるよう行動する。
6. 家族とコミュニティー間の交流を仲介し、非公式ネットワークを強化する。
7. ろう児・聴覚障害児を持つ家庭同志の支援の輪に入れるように支援する。
8. ロールモデルとなる成人のろう者・聴覚障害者と家族との交流を促す。
9. ろう児・聴覚障害児の両親及び兄弟姉妹の幸福が促進されるよう社会的および情緒的支援をする。場合によっては心理カウンセリングの専門家を紹介する。子供の発育にとって、家族が満たされていることはとても重要である。

FCEIが特に大切としているポイント

- 親子のやり取りをリラックスして行い、子育てを総合的に楽しむこと
- **家族全員の幸福**（子供が楽しんでいること、家族関係が安定していること、精神的な余裕があること、子供の将来について明るい見通しを持っていること）
- 積極的な関与（療育への積極的な参加、**情報に基づく選択**、意思決定、子供の権利の擁護）
- **自己効力感**（子育て・子供の発育の促進に対する自信と能力）

みんなでFCEIを共有したい！

← スレッド

日本手話 **VS** 対応手話
 補聴器 **VS** 人工内耳
 声出す **VS** 声無し
 聾学校 **VS** インテグレ
 手話指導 **VS** 口話指導...
 全部コレでどっちが正しいかなんてない

午前6:42 · 2018年8月27日 · Twitter for iPhone

18 件のリツイート 7 件の引用ツイート 65 件のいいね



・ 2018年8月27日

返信先: さん
 てかこーやって並べてみると対立ばっかしてんな 😅 この界限はよw



・ 2018年8月27日

返信先: さん
 もう平成おわるよ？いつまでやってんの？って感じ

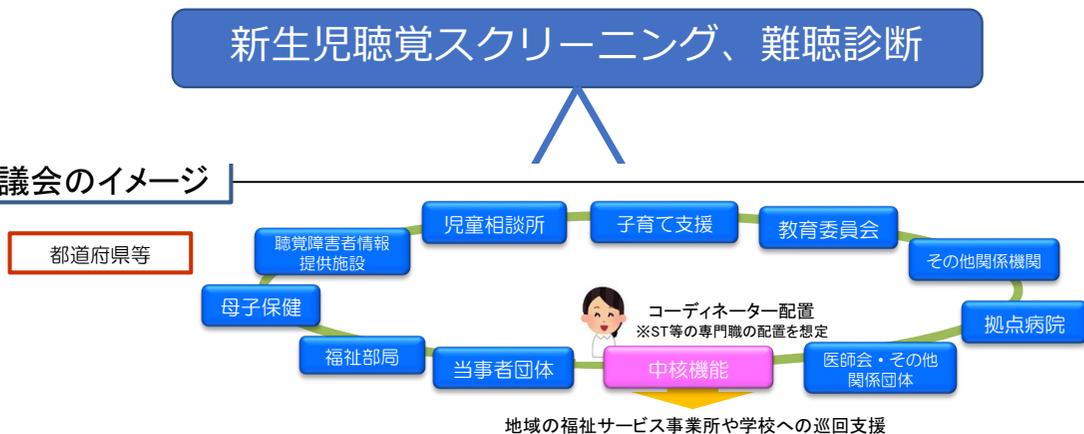


・ 2018年8月28日

ほんまそれ 😅 足の引っ張り合いでここ何年も前に進んでない感じ



協議会のイメージ



乳幼児期:
 感覚器の
 入力と言語
 を繋げる

視覚主導教育



聴覚主導教育



オーディトリバーバルセラピー

その後、社会ではみんな様々なコミュニケーション！